

わかやま結婚・子育て応援企業同盟 出前講座

「TUWABUKIカフェ～ワークライフバランスの重要性～」

【日時】 令和3年2月13日（土） 10：00～12：00

【場所】 T-LABO（和歌山市美園町5丁目4-2）

※講師や主な参加者はZOOMにより参加

開催概要

- 社会福祉法人つわぶき会様の経営者・従業員等を対象に「ワークライフバランスの重要性」をテーマにZOOMを活用した出前講座を開催。参加者数は70名。

「Fathering(父親であることを楽しもう)」の理解・浸透を目的として2013年に設立されたNPO法人。「男性の子育て・家事支援」「管理職養成(イクボス推進)事業」「男性の働き方改革・育休取得推進」等、様々な事業を実施。

【講師(WEB)】

- ◆ 篠田 厚志 氏(特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン関西 理事長)



T-LABOの外観



つわぶき会様 挨拶



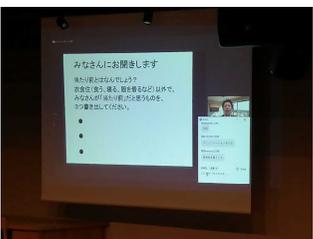
県庁挨拶



聴講の様子



講演の様子



【なぜ今「ワークライフバランス」なのか】

- 働き方・生き方が多様化しており、これまでの価値観で仕事を進めても、高度経済成長期同様の成功は生まれない
- 時代に即した「ワークライフバランス」の実現が不可欠
- 「ワークライフバランス」から「SDGs」へ
 - ✓ 「8.働きがいも経済成長も」、「5.ジェンダー平等を実現しよう」

【日本の現状】

- 共働き家庭の増加・圧倒的にすくない男性の家事育児の現状・男性だって子育てしたいという思い・介護が必要な社員の増加
- 育児や介護、病気といった様々な事情で働き方が限定される「制約社員」が増加
- 単純なピラミッド型ではない「マイノリティ」を活かすマネジメントつまり多様性受容(インクルージョン)のマネジメントがワークライフバランスのカギ
- 海外においては多様性の高い組織の業績が向上

【ワークライフバランスの実現に向けて】

- バイアスが働くことを前提としてお互いの考えをすりあわせる
 - ✓ あらゆる場面に無意識の偏見や思い込み、偏ったものの見方を通じた自分なりの解釈いわゆるアンコンシャスバイアス(ステレオタイプバイアス・正常性バイアス等)が存在
 - ✓ アンコンシャスバイアスは自己防衛本能なので、生じることは防げないが、生じていることを認知しなければ決めつけと押しつけがうまれる
- 自らの自己開示により部下の自己開示を促す
 - ✓ 部下は簡単に教えてくれない
 - ✓ 誰かが発してくれているから安心して自己開示できる
 - ✓ 同レベルの自己開示があってこそ仲間意識が芽生える
- ACESを意識する
 - ✓ ACKNOWLEDGE(認める)・CLARIFY(明確化する)・EXPLORE(探る)・SOLVE(解決する)
 - ✓ まずはACKNOWLEDGE(例えば「〇〇についてありがとうございます」「なるほど、もう少し聞かせてもらえますか」)から始めよう